

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 株式会社フォーカスシステムズ 上場取引所 JASDAQ  
 コード番号 4662 URL <http://www.focus-s.com>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)石橋 雅敏  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)畑山 芳文 TEL (03)5421-7777  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,777	(-)	△140	(-)	△149	(-)	△69	(-)
20年3月期第1四半期	2,637	(16.9)	12	(-)	△4	(-)	244	(-)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	△7	79	-	-
20年3月期第1四半期	26	82	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
21年3月期第1四半期	10,796		5,374		49.7	600	88
20年3月期	10,937		5,517		50.3	616	88
(参考) 自己資本	21年3月期第1四半期		5,360百万円		20年3月期	5,503百万円	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
20年3月期	-	0	00	-	10	00
21年3月期	-	-	-	-	-	-
21年3月期(予想)	-	0	00	-	10	00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	6,050	(3.6)	170	(6.3)	150	(1.3)	60	(△69.4)	6	72
通期	13,050	(3.5)	380	(3.5)	330	(3.8)	130	(△55.8)	14	57

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
[新規 - 社(社名) 除外 - 社(社名)]
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
- ② ①以外の変更 : 無

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

##### ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

21年3月期第1四半期	9,195,365株	20年3月期	9,195,365株
-------------	------------	--------	------------

##### ② 期末自己株式数

21年3月期第1四半期	273,534株	20年3月期	273,478株
-------------	----------	--------	----------

##### ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)

21年3月期第1四半期	8,921,873株	20年3月期第1四半期	9,095,200株
-------------	------------	-------------	------------

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における我が国経済は、サブプライムローン問題を背景とした米国の景気後退懸念が拡大したほか、円高や原油・原材料価格の高騰により、企業の収益環境が厳しさを増すと共に、個人消費や企業の設備投資が鈍化するなど、景気は弱含みの状況で推移しております。

情報サービス業におきましても、企業のIT投資は鈍化する傾向にあり、また投資効果に対する要求も一段と厳しいものとなってきております。

このような状況下にあつて当企業グループでは、システムインテグレーション事業、情報セキュリティ事業分野において順調な伸びを示している一方で、内部統制に伴う社内体制の整備、新入社員を中心とする人材投資を積極的に行っております。

この結果、売上高につきましては、2,777百万円、営業損失140百万円、経常損失149百万円、四半期純損失69百万円となっており、前年同四半期に比し、増収減益となりましたが、第1四半期の売上高及び損失は、計画通りに推移しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産は10,796百万円となり、前連結会計年度末と比べ140百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の増加225百万円、仕掛品の増加199百万円があつたものの受取手形及び売掛金の減少856百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年5月16日発表の中間期及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一次差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じる方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

棚卸資産

通常の販売目的で保有する棚卸資産(仕掛品)については、従来、個別法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、個別法による低価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価の切下げの方法)により算定しております。

なお、この変更による損益への影響はありません。

- ③「リース取引に関する会計基準」の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)。平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、リース取引開始日が平成20年4月1日以降の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日がリース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。

当第1四半期連結会計期間においては、リース取引開始日が平成20年4月1日以降の所有権移転外ファイナンス・リース取引はありませんでしたので、この変更による損益への影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,881,295	1,656,060
受取手形及び売掛金	1,585,532	2,442,464
製品	47,282	8,953
仕掛品	717,298	517,310
繰延税金資産	156,494	160,347
その他	166,347	136,168
貸倒引当金	△6,282	△6,282
流動資産合計	4,547,969	4,915,023
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,223,142	1,221,991
減価償却累計額	△730,493	△722,999
土地	3,304,710	3,304,710
その他	307,521	303,404
減価償却累計額	△215,313	△209,675
有形固定資産合計	3,889,567	3,897,431
無形固定資産		
ソフトウェア	163,620	177,546
その他	74,288	58,029
無形固定資産合計	237,909	235,575
投資その他の資産		
投資有価証券	1,112,169	1,107,041
長期貸付金	166,032	210,846
繰延税金資産	113,900	92,155
その他	808,957	591,180
貸倒引当金	△80,000	△112,000
投資その他の資産合計	2,121,059	1,889,224
固定資産合計	6,248,536	6,022,231
資産合計	10,796,505	10,937,254

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	467,926	544,181
1年内償還予定の社債	673,000	698,000
短期借入金	460,000	505,200
1年内返済予定の長期借入金	871,511	866,000
未払法人税等	0	30,387
賞与引当金	497,447	298,056
役員賞与引当金	25,000	20,000
その他	551,404	504,059
流動負債合計	3,546,289	3,465,884
固定負債		
社債	420,000	420,000
長期借入金	1,245,500	1,321,580
退職給付引当金	7,459	8,543
役員退職慰労引当金	22,000	22,000
その他	181,012	181,854
固定負債合計	1,875,972	1,953,977
負債合計	5,422,261	5,419,862
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,905,422	2,905,422
資本剰余金	1,949,999	1,949,999
利益剰余金	386,427	545,202
自己株式	△129,957	△129,933
株主資本合計	5,111,892	5,270,691
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	249,085	233,013
評価・換算差額等合計	249,085	233,013
少数株主持分	13,266	13,686
純資産合計	5,374,244	5,517,392
負債純資産合計	10,796,505	10,937,254

## (2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年6月30日)

売上高	2,777,217
売上原価	2,520,969
売上総利益	256,247
販売費及び一般管理費	396,988
営業利益	△140,740
営業外収益	
受取利息及び配当金	4,259
受取家賃	5,717
持分法による投資利益	2,390
その他	1,155
営業外収益合計	13,522
営業外費用	
支払利息	13,408
社債利息	5,401
貸与資産減価償却費	2,328
その他	1,312
営業外費用合計	22,450
経常利益	△149,668
特別利益	
投資有価証券売却益	2,941
特別利益合計	2,941
税金等調整前四半期純利益	△146,727
法人税、住民税及び事業税	△76,963
少数株主利益	△220
四半期純利益	△69,543

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません



「参考」

(要約)四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前四半期 (平成20年3月期 第1四半期末)
	金額
I 売上高	2,637,928
II 売上原価	2,297,213
売上総利益	340,715
III 販売費及び一般管理費	328,592
1 役員報酬	69,791
2 給与手当	69,573
3 賞与引当金繰入	12,397
4 交際接待費	9,530
5 減価償却費	5,229
6 その他	162,072
営業利益	12,123
IV 営業外収益	12,205
V 営業外費用	29,183
1 支払利息	12,257
2 持分法による投資損失	4,542
3 その他	12,384
経常損失	△ 4,855
VI 特別利益	588,771
1 投資有価証券売却益	588,213
2 その他	557
VII 特別損失	338,597
1 前渡金償却	272,000
2 その他	66,597
税金等調整前四半期純利益	245,319
税金費用	1,319
四半期純利益	244,000